

取扱説明書

CD ステレオシステム

品番 SC-PMX9

安全上のご注意

準備する

CD

ラジオ

USB

iPod/
iPhone/iPad

AirPlay/
DLNA

Bluetooth®

使うこ
なす

必要なとき



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(34～36ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(⇒34～36 ページ)

準備する

付属品	3
リモコンの準備	3
本機の設置と接続	4
各部の名前と働き	6
ネットワークに接続する	7
有線 LAN 接続を行う	7
無線 LAN 接続を行う	8

CD

CD を聴く	12
--------	----

ラジオ

ラジオを聴く	13
放送局を記憶させて聴く	13
周波数を手動で合わせて聴く	14

USB

USB デバイスに録音された 音声聴く	15
------------------------	----

iPod/iPhone/iPad

iPod/iPhone/iPad の音楽を聴く	16
iPod/iPhone/iPad を接続する	16
音楽を本機で聴く	17
充電する	17

AirPlay/DLNA

AirPlay を楽しむ	18
AirPlay を使って音楽を聴く	18
AirPlay をいつでも使えるようにする (ネットワーク・スタンバイ)	19
ダイレクト接続	20
DLNA 機器の音楽を 本機から再生する	21

Bluetooth®

Bluetooth® を楽しむ	21
機器を登録する	21
機器を再生する	22

使いこなす

外部機器の音声を聴く	22
音質・音場効果を楽しむ	23
便利な機能	24
タイマーを使う	25
時計を合わせる	25
おやすみタイマー	25
おめざめタイマー	25

必要なとき

ソフトウェアを更新する	26
CD の取り扱い	26
本機のお手入れ	26
無線機能使用上のお願ひ	27
こんな表示が出たら	28
故障かな！？	30
仕様	32
著作権など	33
保証とアフターサービス (よくお読みください)	37
さくいん	39
廃棄 / 譲渡するとき	39

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(⇒○○)で示しています。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

付属品

付属品をご確認ください。



- 付属品・別売品 (⇒ 26) の品番は、2013 年 3 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品や別売品 (⇒ 26) は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

CLUB Panasonic

Pana Sense

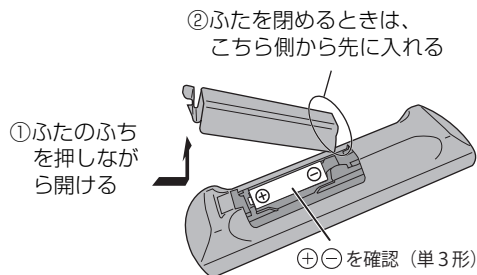


携帯電話からもお買い求めいただけます。

<http://p-mp.jp/cpm/>

リモコンの準備

■ 乾電池の入れかた



電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

■ 使用上のお願い

受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

■ 本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

お知らせ

- リモコンの電池を交換すると、リモコンモードが1になることがあります。

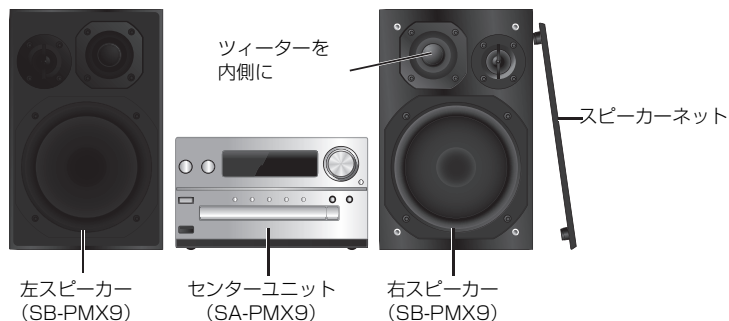
準備
する

本機の設定と接続

■ 本機の設定

左右のスピーカーは、 ツィーターが内側になるように、 スピーカーネットを外して確認してから設置してください。

CD ステレオシステム (SC-PMX9)



- センターユニットとスピーカーは 1 cm 以上離してください。
- 本機を移動させるときは、CD を取り出し、iPod/iPhone/iPad や USB デバイスは取り外してから電源を切って移動してください。
- 付属のスピーカー以外のご使用になれません。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。

■ スピーカーについて

- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカーの破損の原因になることがあります。）

■ よりよい音響効果を得るために

音はスピーカーの置きかたによって変わります。

例えば、床の上や部屋の隅に置くと、低音が増します。

下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- 平らで安定した場所に設置する
- 左右のスピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
- スピーカーは壁から離す
- 硬い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて反射を少なくする
- 左右のスピーカーの間隔を広げる
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する
- 鑑賞時の耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する

■ 長期間使用しないときは

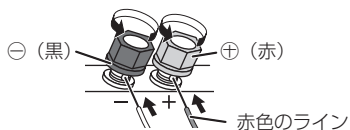
電源を切った状態でも電力を消費しています。(⇒ 32)

節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。時計を設定してあるときは、再設定が必要になります。(⇒ 25)

■ 本機の設置

① 右スピーカーにスピーカーコードを接続する

- ①つまみを回してゆるめ、穴に芯線を差し込む



- ②つまみを締める



- ③左スピーカーも同様にして接続する

スピーカーコードをショートさせないでください。

(⇒下記 **お願い**)

③ FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナを接続する

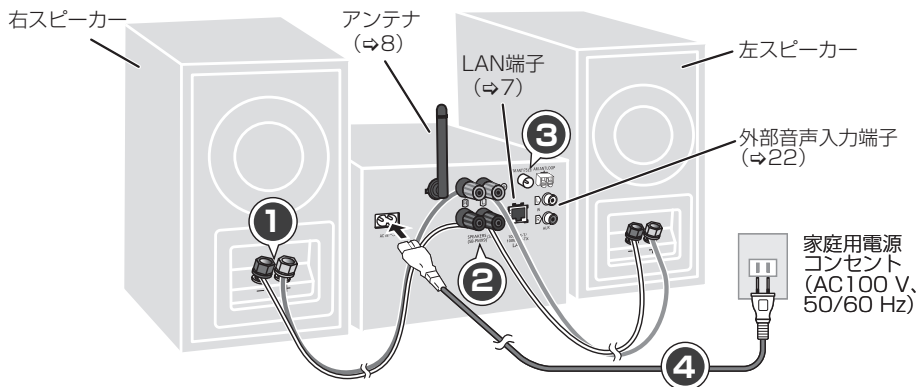
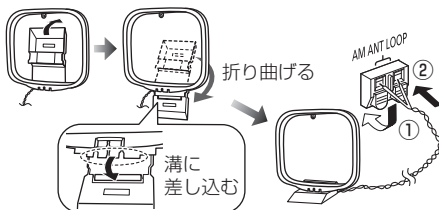
(FM 簡易型アンテナ)

電源を入れたあとラジオの周波数を合わせて (⇒13)、雑音の少ない位置で壁や柱にテープで留めてください。



(AM ループアンテナ)

電源を入れたあとラジオの周波数を合わせて (⇒13)、雑音の少ない位置や向きに置いてください。

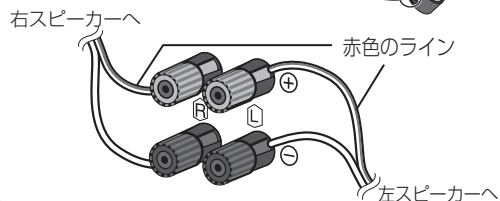


② 本体に左右のスピーカーコードを接続する

- ①すき間が見えるまでつまみを回してゆるめ、すき間に芯線を差し込む

- ②つまみを締める

ビニール部分は差し込まない

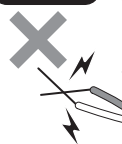


④ 電源コードを接続する

最後に接続します。

- ①本体に電源コードを接続する
②コンセントに電源プラグを差し込みしばらく待ってから電源を入れてください。

お願い



スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損するおそれがあります。

準備する

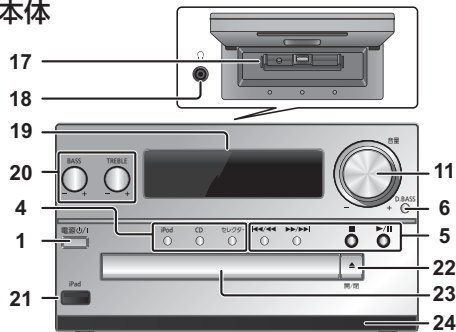
各部の名前と働き

リモコン



- 1 [電源] [電源 ϕ /I]: 電源を入 / 切る
- 2 数字ボタン: 番号を選ぶ
 - 2桁の番号を選ぶには[≥ 10]を押してから数字ボタンを押す
(例: 「12」は [≥ 10] → [1] → [2])
 - 3桁の番号を選ぶには[≥ 10]を2回押してから数字ボタンを押す
(例: 「124」は [≥ 10] → [≥ 10] → [1] → [2] → [4])
- 3 [消去]: プログラム曲を消去する
- 4 [iPod][CD][セレクター]: 音源を切り換える (⇒ 12, 13, 17, 21, 22)
- 5 再生操作ボタン
- 6 [D.BASS][サウンド][プリセットEQ]: 音質・音場効果ボタン (⇒ 23)
- 7 [iPod MENU]: iPod/iPhone の選曲メニュー画面に入る
- 8 [表示切換]: 表示を切り換える
- 9 [スリープ][再生 ϕ][時計/タイマー]: 時計・タイマー操作ボタン
- 10 [プログラム]: プログラムプレイを入 / 切る
- 11 [+ 音量-], 音量つまみ: 音量を調節する 0(最小) ~ 50(最大)
- 12 [消音]: 一時的に消音する
 - 解除するには、もう一度押す / 音量を調節する / 電源を切 / 入する
- 13 [再生メニュー]: 再生メニュー画面に入る
- 14 [ラジオメニュー]: ラジオメニュー画面に入る
- 15 [▲][▼][◀][▶][決定]: メニューや設定画面などで選んで決定する / アルバムを選ぶ
- 16 [設定]: 本機を設定する
- 17 「iPod_Dock」接続部
iPod/iPhone を接続する (⇒ 16)
- 18 ヘッドホン端子
- 19 表示部
- 20 BASS・TREBLE つまみ: 低域・高域を調整する (⇒ 23)
- 21 「iPod_Port」接続部: iPod/iPhone/iPad を接続する (⇒ 16)
USB デバイスを接続する (⇒ 15)
- 22 [▲開 / 閉]: CD トレイを開 / 閉する
- 23 CD トレイ部
- 24 リモコン受信部
受信範囲 正面…7 m 以内
左右…各約 30°
 - 距離と角度はおよその数値です。
 - 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

本体



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続することにより、AirPlay や DLNA 機能を利用して iOS 機器 (iPhone、iPad touch、iPad)、Android™ 機器やパソコン (Mac/Windows) にある音楽などを本機のスピーカーからお楽しみいただけます。



AirPlay や DLNA 機能をご利用になるには、本機と iOS 機器、Android 機器やパソコンが、ブロードバンドルーターを通じて同じネットワークに接続されている必要があります。

本機とブロードバンドルーターとの接続は、有線 LAN 接続と無線 LAN 接続 (Wi-Fi®) の両方に対応しています。

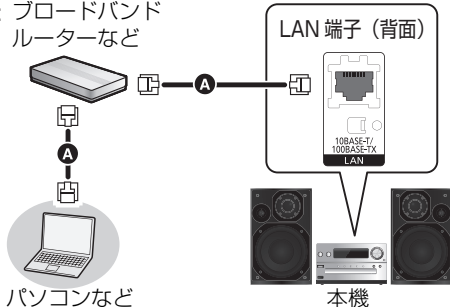
ネットワーク接続時の安定した再生のためには有線 LAN 接続をおすすめします。

- ブロードバンドルーターを利用せずに AirPlay を楽しむこともできます。(⇒ 20)
- 有線 LAN 接続と無線 LAN 接続を切り換えると、接続設定が初期化される場合があります。その場合は設定をやり直してください。

有線 LAN 接続を行う

LAN ケーブルを接続するだけでお使いになれます。

例：ブロードバンドルーターなど



パソコンなど

本機

▲：LAN ケーブル (市販のものをご使用ください)

準備する

- 本機の電源コードを抜く

1 本機とブロードバンドルーター (など) を LAN ケーブルで接続する

2 本機に電源コードを接続し、[電源] を押して電源を入れる

「W」が点灯すればお使いになれます。

お知らせ

- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- カテゴリ 5 (CAT5) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- LAN ケーブル以外 (電話のモジュラーケーブルなど) を挿入しないでください。故障の原因になります。

■ 詳細な接続設定を行う (必要な場合のみ)

- お使いのネットワークが、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS などに特別な設定を行っている場合、それぞれを設定できます。
- AirPlay や DLNA 機能使用時に表示される本機の名称 (ステレオシステム名) を変更できます。

- ① 本機の電源コードを抜いてから、本機とパソコン (など) を LAN ケーブルで直接接続する
- ② 本機に電源コードを接続し、[電源] を押して電源を入れる
- ③ 「W」が点灯したら、[設定] を数回押して「Net Info」を選び、[決定] を押す
- ④ [設定] を押して「IP Addr.」を選び、本機の IP アドレスを確認する。

- [◀][▶] を押して IP アドレスの上部・下部を表示できます。

- ⑤ [設定] を数回押して「Net Setup」を選び、[決定] を押す
- ⑥ [設定] を数回押して「Manual」を選び、[決定] を押す
- ⑦ 「Setting」が表示されたら、接続機器 (パソコンなど) のインターネットブラウザを開き、アドレス欄に手順④で確認した本機の IP アドレスを入力する

- 設定画面が表示されます。環境により、ブラウザに設定画面が表示可能になるまでに数分かかる場合があります。その場合読み込みを行ってください。

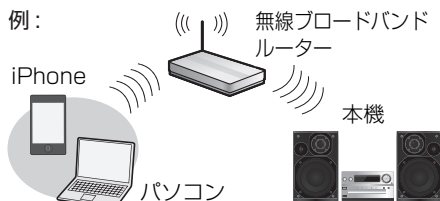
- 上記操作を 10 分程度繰り返してもブラウザに設定画面が表示されない場合、本機の設定をお買い上げ時の状態 (工場出荷設定) に戻して (⇒ 30)、最初から設定をやり直してください。

- ⑧ 設定画面の各項目を入力する
- ⑨ 「接続」を選択し、設定を終了する
 - 接続が完了すると、表示部に「Success」と表示されます。
- ⑩ [電源] を押して電源を切り、電源コードを抜く
- ⑪ 「有線 LAN 接続を行う」(⇒ 左記) の接続を行う

ネットワークに接続する (続き)

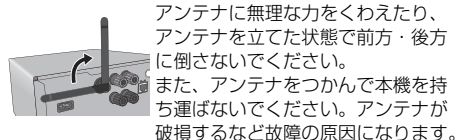
無線 LAN 接続を行う

例:



準備する

- LAN ケーブルを取り外す
- 本機を無線ブロードバンドルーターのなるべく近くに置く
- 本機背面のアンテナを立てる



- 1 [電源] を押して電源を入れる
- 2 以下に従ってネットワークへの接続方法を決める

お使いの無線ブロードバンドルーターは、WPS (Wi-Fi Protected Setup™) に対応していますか？	
はい	いいえ / わかりません

接続方法 1
(⇒ 右記)

iPod touch、iPhone、iPad を使っていますか？ また、iOS のバージョンは 5.0 以降ですか？	
はい	いいえ

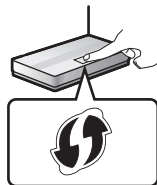
接続方法 2
(⇒ 9)

接続方法 3
(⇒ 9)

パソコンからネットワーク接続を行ったり、より詳細な設定を行う場合は、「接続方法 4」(⇒ 10) をお試しください。

お知らせ

- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーターについては、下記のサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/>
- 無線ブロードバンドルーターの使い方など詳細については、ルーターの説明書をご覧ください。
- お持ちの無線ブロードバンドルーターが WPS (Wi-Fi Protected Setup™) 方式に対応しているかどうかは、ルーターの説明書などをご覧ください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。
- 設定を行うときに無線ルーターと本機が離れていると、接続できないことがあります。機器を近づけて設定してください。



接続方法 1

- 1 [設定] を数回押して「Net Setup」を選び、[決定] を押す※ 1
「With iPod」が表示されます。
- 2 [設定] を数回押して「WPS Push」を選び、[決定] を押す※ 1
「WPS」が点滅します。
 - 2 分以内に手順 3 を行ってください。
- 3 「WPS」表示後、無線ブロードバンドルーターの WPS ボタンを押す
 - 接続が完了すると、表示部に「Success」と表示され、「W」が点灯します。
- 4 [決定] を押して設定を終了する

PIN コード方式のとき

ルーターの説明書などで、PIN コードの入力方法を調べておいてください。

- ① [設定] を数回押して「Net Setup」を選び、[決定] を押す※ 2
- ② [設定] を数回押して「WPS PIN」を選び、[決定] を押す※ 2
 - 8 桁の PIN コードが表示されます。
- ③ パソコンなどからルーターに接続し、手順②で表示された PIN コードを 2 分以内に入力する

※ 1 手順 1・2 の代わりに次の方法でも行えます。

- 本体の [■] を押しながら、本体の [D.BASS] を 2 秒以上押し続けたままにする

※ 2 手順①・②の代わりに次の方法でも行えます。

- ① 本体の [■] を押しながら、本体の [D.BASS] を 2 秒以上押し続けたままにする
- ② 「WPS」が表示されたら、もう一度本体の [■] を押しながら、本体の [D.BASS] を 2 秒以上押し続けたままにする

接続方法 2

iPod touch/iPhone/iPad を使い、ネットワーク接続を行います。

- 説明には iPhone を使用しています

準備する

- 本機に iPod/iPhone/iPad を接続している場合は取り外す

- 1 iPhone をご家庭でお使いの無線ネットワークに接続する
- 2 iPhone を本機に接続する
 - お使いの機器に合わせて接続方法をひとつ選んでください。[接続方法 (⇒ 16)]
- 3 [設定] を数回押して「Net Setup」を選び、[決定] を押す
[With iPod] が表示されます。
- 4 iPhone のロックを解除し、リモコンの [決定] を押す
[Connecting Wi-Fi] と表示されます。
 - 表示部に「Not Supported」、または「Set Wi-Fi」が表示された場合は、iPhone の無線ネットワーク設定を確認し、手順 1 から設定をやり直してください。
- 5 iPhone に表示されるメッセージを確認して、ネットワーク接続設定の共有を許可する
 - 接続が完了すると、表示部に「Success」と表示され、「W」が点灯します。
- 6 「決定」ボタンを押して設定を終了する

お知らせ

- 機器を接続する時、本機表示部に「Success」と表示されずに「Fail」と表示される場合は、[決定] を押して設定をやり直してください。それでも接続できない場合は、8～10 ページの他の接続方法を試してください。
- 途中で設定を止めるときは、[電源] を押して電源を切ってください。
- 電源を入れた直後にネットワークの設定を行うと開始までに時間がかかることがあります。

接続方法 3

「Panasonic Stereo System Network Setup」アプリ (無料) を使ってネットワーク接続を行います。

- Android 機器をお使いの場合は、Google Play™ でご利用いただけます。
- iPod touch/iPhone/iPad をお使いの場合は、App Store でご利用いただけます。

準備する

- お使いのスマートフォンを、ご家庭の無線ネットワークに接続する
- お使いの無線ネットワークのパスワードを確認する

- 1 [設定] を数回押して「Net Setup」を選び、[決定] を押す
[With iPod] が表示されます。
- 2 [設定] を数回押して「Manual」を選び、[決定] を押す
[Setting] が点滅します。
- 3 「Panasonic Stereo System Network Setup」を起動し、画面の指示に従う

■ iOS 版「Panasonic Stereo System Network Setup」ご使用時は

手順3のあと：

- ① iOS 機器が接続している無線ブロードバンドネットワークのパスワードを入力する
- ② iOS 機器を本機に接続するよう促すメッセージが表示されたら、iOS 機器のホームボタンを押し、ホーム画面に戻る
- ③ 「設定」のネットワーク選択画面で「00 Setup _ _ _ _ _ *」を選ぶ
※ 機器によって固有の番号が表示されます。



- ④ 本機への接続完了のメッセージが表示されたら、もう一度「Panasonic Stereo System Network Setup」を起動する



(⇒ 次ページに続く)

準備する

- ⑤ ネットワーク接続完了のメッセージが表示されたらアプリを終了し、AirPlay などの動作を確認する

お知らせ

- Mac OS 版「Panasonic Stereo System Network Setup」もご利用可能です。Mac App Store よりダウンロードしてください。

接続方法 4

iPhone /iPod touch/iPad、Android 機器、パソコンなどから直接本機に接続し、ネットワーク名 (SSID ※¹)、パスワードなどのネットワーク設定を行います。SSID やパスワードはルーターの背面に記載されていることもあります。詳しくはルーターの説明書などをご覧ください。

準備する

- 接続するルーターの SSID、パスワードを調べる
- 「マニュアル設定」(⇒ 11) を行うときは、認証方式も調べる

- 説明には iPhone を使用しています

1 「設定」を数回押して「Net Setup」を選び、[決定]を押す
「With iPod」が表示されます。

2 「設定」を数回押して「Manual」を選び、[決定]を押す
「Setting」が点滅します。

3 iPhone の「設定」の Wi-Fi ネットワーク画面から「00 Setup _____ ※²」を選び、接続する
iPhone と本機が接続された状態になります



- 上図のようにチェックマークが表示された後、手順 4 に進んでください。

※ 1 SSID : 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合通信可能になります。

※ 2 機器によって固有の番号が表示されます。

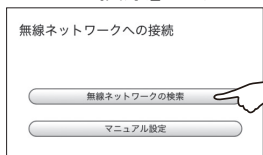
4 iPhone で「Safari」を開き、アドレス欄に「http://192.168.1.12/」と入力する



本機の設定画面が表示されます

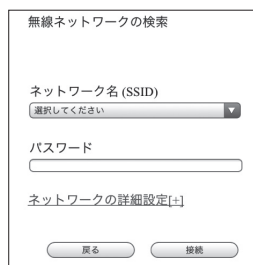
- iPhone 以外の場合は、お使いの機器のインターネットブラウザで設定してください。
例：
– iOS 機器 /Mac : Safari
– Android 機器 : Google Chrome™
– Windows : Internet Explorer

5 「無線ネットワークの検索」を選ぶ



- 「マニュアル設定」(⇒ 11)

6 ネットワーク名を選び、パスワードを入力して「接続」を選ぶ



- 確認画面が表示されるので、「OK」を選んでください。
- 「キャンセル」を選ぶと、設定画面に戻ります。
- 接続が完了すると、表示部に「Success」と表示され、「W」が点灯します。

7 手順 3 で設定した iPhone の接続先が元の接続先 (ご利用中の SSID) に戻っているか確認する

お知らせ

- 機器を接続する時、本機表示部に「Success」と表示されずに「Fail」と表示される場合は、[決定]を押した後、無線ネットワークのパスワードや設定を確認し、手順 1 からやり直してください。

■ 「マニュアル設定」を使うとき

SSID を手動で設定します。「無線ネットワークの検索」をしても SSID が表示されないときに使います。

- ① 「ネットワーク名 (SSID)」の項目に接続したい SSID を入力する
- ② 「セキュリティ方式」から認証方式を選ぶ
- ③ 「パスワード」を入力し、「接続」を選ぶ

■ その他の設定について

● 「ネットワークの詳細設定」

お使いのネットワークが、IP アドレス、サブネットワーク、ゲートウェイアドレス、DNS などに特別な設定を行っている場合、それぞれを設定します。

- ① “接続方法 4”の手順 7(⇒ 10)の前に、「ネットワークの詳細設定」を選ぶ
- ② 必要なアドレスを各欄に入力し、「接続」を選ぶ
 - DHCP 設定に戻す場合は、「IP アドレス自動取得」欄のドロップダウンリストから「ON」を選択してください。

● 「ステレオシステム名」の編集

AirPlay や DLNA 機能使用時に表示される本機の名称を変更できます。

- ① “接続方法 4”の手順 5(⇒ 10)の前に、「追加設定」を選択する
- ② 「「ステレオシステム名」の編集」を選ぶ
- ③ 名前を入力する
 - 半角英数字のみ使用できます。
- ④ 「OK」を選ぶ
- ⑤ 本機がすでに、お使いの無線ネットワークに接続されている場合、「追加設定」を選び、「終了」を選ぶ
 - ネットワークに接続されていない場合は、“接続方法 4”の手順 5(⇒ 10)から設定してください。

■ 接続の信号レベルを確認する

- ① 「設定」を数回押して「Signal Level」を選び、「決定」を押す
 - 「3」が安定した信号状態です。「2」または「1」のとき、または通信の途切れが発生するときは、本機や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか、お確かめください。
 - 「0」のときは接続されていません。(⇒ 28)
- ② 「決定」を押して終了する
 - ダイレクト接続 (⇒ 20) 使用中は、信号レベルを確認できません。

■ 割り当てられた IP アドレスを確かめる

ルーターに接続後、本機に割り当てられた IP アドレスを確かめることができます。

- ① 「設定」を数回押して「Net Info」を選び、「決定」を押す
- ② 「設定」を押して「IP Addr.」を選び、「決定」を押す
- ③ [◀][▶]を押して下部を表示する
 - 20 秒間操作しないと終了します。

■ 本機の Wi-Fi MAC アドレスを調べる

- ① 「設定」を数回押して「Net Info」を選び、「決定」を押す
- ② 「設定」を数回押して「MAC Addr.」を選び、「決定」を押す
- ③ [◀][▶]を押して下部を表示する
 - 20 秒間操作しないと終了します。

■ ネットワーク名 (SSID) を調べる

- ① 「設定」を数回押して「Net Info」を選び、「決定」を押す
- ② 「設定」を数回押して「SSID」を選び、「決定」を押す
 - 「No Connect」が表示される場合は、お使いの機器がネットワーク接続されているか確認してください。
 - ネットワーク名はすべて英文大文字で表示されます。(機器が表示できない文字は“*”で表示されます)
- ③ 「決定」を押して終了する

■ 無線 LAN 機能の有効・無効を切り換える

- お買い上げ時の設定は「On」(有効)です。
 - 設定を変更しても無線接続設定は保持されます。
- ① 「設定」を数回押して「Wireless LAN」を選び、「決定」を押す
 - ② [◀][▶]を押して項目を選び、「決定」を押す

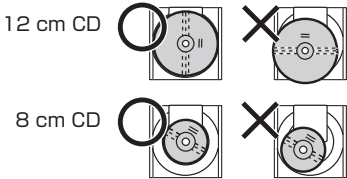
お知らせ

- ネットワーク接続に関する最新のサポート情報は下記のサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/>
- 途中で設定を止めるときは、本機の「電源」を押して電源を切ってください。
- 電源を入れた直後にネットワークの設定を行うと開始までに時間がかかることがあります。
- ネットワークの設定をしている間は iPhone などやパソコンの DHCP を有効にしてください。
- ブラウザーの設定で、Java Script と Cookie を有効にしてください。
- パスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはおお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

CD を聴く

本機で再生できるディスクについては下記「CD について」をご覧ください。

- 1
- [電源] を押して電源を入れる
- 2
- 本体の [▲ 開 / 閉] を押して CD トレイを開き、CD を入れる
- ラベル面を上、CD トレイの中央に正しく置きます。




CD トレイを閉めるにはもう一度 [▲ 開 / 閉] を押します

- 3
- [CD] を押してセレクトを「CD」に切り換える
- 4
- [▶/||] を押す
- 再生が始まります。

CD について

■ 使用できる CD

-  マークの付いた CD
- CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW (ファイナライズ*されたもの)
- 記録状態によっては再生できない場合があります。
* 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ 使用できない CD

- ハート型など、特殊形状の CD (故障の原因になります。)



■ 使用を保証していない CD

- 違法にコピーしたディスクや規格外ディスク
- DualDisc (デュアルディスク: 両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク)

■ 本機で再生できるディスク

市販の音楽 CD (CD-DA)	○
CD-R/CD-RW (CD-DA)	○
CD-R/CD-RW (MP3)	×
	再生できません

CD の再生操作

停止する	[■] を押す
一時停止	[▶/] を押す ● 再開するには [▶/] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[◀] [▶] を押す (本体では [◀◀] [▶▶] を押す)
早送り / 早戻しする (サーチ)	再生中 / 一時停止中に、 [◀◀] [▶▶] (本体では [◀◀] [▶▶]) を 押したままにする
好きな曲から聴く (ダイレクトプレイ)	数字ボタンを押す (⇒ 6) ● ランダムプレイ (⇒ 下記)、プログラムプレイ (⇒ 13) の設定 中は操作できません。
再生残り時間などを見る	再生中 / 一時停止中に [表示切 換] を押す 押すたびに： 「CD」 + 再生経過時間 → トラック番号 + 再生経過時間 ↑ ↓ トラック番号 + 再生残り時間
順不同で聴く (ランダムプレイ)	① [再生メニュー] を数回押し て「Random」を選ぶ ② [◀ ▶] を押して「On」モ ードを選び、[決定] を押す (「RND」が点灯します。) ● 解除するには「Off」を選 びます。 ● ランダムプレイ中は、一度再生 した曲へスキップできません。 ● CD トレイを開けると、ラン ダム再生は解除されます。
くり返し聴く (リピートプレイ)	① [再生メニュー] を数回押し て「Repeat」を選ぶ ② [◀ ▶] を押して設定を選 び、[決定] を押す Off: リピート再生を解除 1-Track: 1 曲のみリピート再生 (「1TR」, 「  」が点灯します。) All: 全曲をリピート再生 (「  」が点灯します。) ● リピート再生は、他の再生方 法と組み合わせることができ ます。

曲を選んで聴く (プログラムプレイ)

好みの曲を好きな順に、最大 24 曲までプログラムできます。

- 1 停止中に、[プログラム]を押す
“PGM” が点灯します。
- 2 数字ボタンを押して曲を選ぶ
続けて選ぶときはこの操作をくり返します。
- 3 [▶/⏮]を押す
再生が始まります。

停止する	再生中に [■] を押す (プログラム内容は保持)
内容を確認する	プログラムプレイの停止中に、 [◀◀][▶▶] (本体では [◀◀/◀▶][▶▶/▶▶]) を押す
曲を追加する	プログラムプレイの停止中に、 上記手順 2 を行う
通常の再生に戻す	プログラムプレイの停止中に、 [プログラム]を押して “PGM” を消す (プログラム内容は保持) ●プログラムプレイに戻るには 停止中に、[プログラム]→ [▶/⏮]を押す
最後の 1 曲を取り 消す	プログラムプレイの停止中に、 [消去]を押す ●プログラム曲を選んで取り消 すことはできません。
プログラムをす べて取り消す	① プログラムプレイの停止中 に、[■]を押す ② 「CLR All」の点滅中に、 [■]を押す

お知らせ

- 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
- CD トレイを開けると、プログラム内容は取り消されます。
- プログラムの合計再生時間は表示されません。

ラジオを聴く

ラジオをご利用になるためには、付属の FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナの両方を接続してください。(⇒ 5)

放送局を記憶させて聴く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聴くことができます。FM/AM 各 15 局まで記憶することができます。

自動でチャンネルを記憶させる (オートプリセットメモリー)

自動で各チャンネルに受信できる放送局を割り当てます。

- 1 [セレクター] を数回押して
セレクターを [FM] または [AM]
に切り換える
- 2 [ラジオメニュー] を押して
「Auto Preset」を選ぶ
- 3 [◀][▶] を押して
周波数の割り当て順を選ぶ
Lowest:
1 番低い周波数から割り当てます。
Current:
現在受信中の周波数から割り当てます。
- 4 [決定] を押す
周波数が動いて、現在受信できる放送局が
チャンネルに記憶されます。
●途中で止めるときは、[■] (停止) を押し
てください。

記憶させた放送局を聴く (プリセットチューニング)

- 1 [セレクター] を数回押して
セレクターを [FM] または [AM]
に切り換える
- 2 [◀◀][▶▶] を押してチャンネル
を選ぶ
●数字ボタン(⇒ 6)でもチャンネルを選べます。

ラジオを聴く (続き)

周波数を手動で合わせて聴く

放送局の周波数に手動で合わせて、放送を聴くことができます。(マニュアルチューニング)

- 1 [セクター] を数回押してセクターを [FM] または [AM] に切り換える
- 2 [◀◀][▶▶] を押して周波数を合わせる

■ 自動選局するには (オートチューニング)

周波数が動き始めるまで

[◀◀][▶▶] を押したままにする

(放送を受信すると止まります。)

- 好みの放送局を受信するまで、同じ操作を繰り返します。
- 周囲に妨害電波があると、放送を受信しなくても周波数が止まることがあります。

■ チャンネルを記憶させるには (マニュアルメモリー)

「オートプリセットメモリー」(⇒ 13) で記憶させたチャンネルに上書きしたり、FM モノラル受信 (⇒ 右記) で記憶させたりできます。

- ① 「周波数を手動で合わせて聴く」手順2で周波数を合わせて、[プログラム] を押す
- ② “PGM” の点滅中に、数字ボタン (⇒ 6) を押してチャンネルを選ぶ
 - 「記憶させた放送局を聴く (プリセットチューニング)」(⇒ 13) で、放送局を選べます。

■ FM ステレオ放送で雑音が多いときは (FM モノラル受信)

- ① FM 受信中に、[ラジオメニュー] を数回押して「FM Mode」を選ぶ
- ② [◀][▶] を押して「Mono」を選び、[決定] を押す (“MONO” が点灯します。)
 - ステレオ受信に戻すには、上記手順 ② で「Stereo」を選ぶか、周波数を切り換えます。

■ FM 放送の受信状態を確認するには

上記の設定をしていないとき、ステレオ受信の場合は、“ST” が点灯します。

- 周波数が合っていない場合や受信状態が悪い場合、モノラル受信の場合、“ST” は点灯しません。

■ FM がうまく受信できないときは

山間部や鉄筋ビルの中など、電波が弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をお勧めします。FM 専用アンテナ (市販) やブースター (増幅器・市販) の使用が必要になることがあります。

- 詳しくは、販売店にご相談ください。

お知らせ

- FM ステレオ放送で雑音が多いときは、音質・音場効果 (⇒ 23) を切ることで改善することもあります。

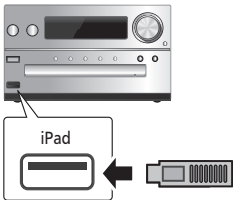
USB デバイスに録音された音声を聴く

USB デバイスなどを本機に接続して、MP3 や FLAC の音源（拡張子が「.mp3」、「.MP3」、「.flac」、「.FLAC」のファイル）を再生することができます。

- 本機では 32 GB までの容量の USB デバイスに対応しています。
- 本機では USB デバイスへの録音はできません。

準備する

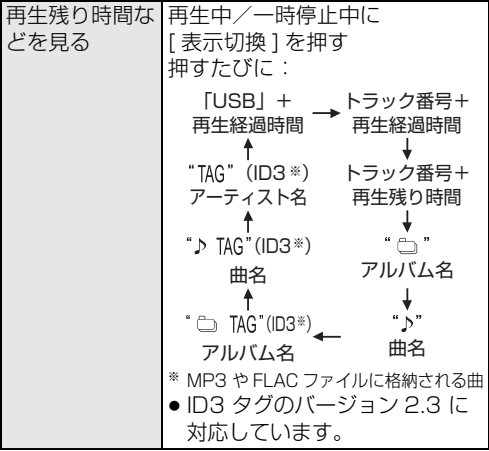
- ① パソコンなどからUSB デバイスにMP3やFLACの音楽ファイルを入れておく
- ② 本機の音量を下げしておく
- ③ USB デバイスを本機の「iPod_Port」接続部に接続する



1 **「セレクトター」を数回押してセレクトターを「iPod_Port」に切り換える**
USB デバイスが認識されると、セレクトター名が「USB」に切り換わります。

2 **「▶/||」を押す**
再生が始まります。

停止する	「■」を押す （「Resume」が表示され、停止した曲を記憶） <ul style="list-style-type: none">● 再開するには「▶/ 」を押す（停止した曲の先頭から再生します。）● 最初から再生するにはもう一度「■」を押してから「▶/ 」を押す
アルバムを選ぶ（アルバムスキップ）	「▲」[▼]を押す <ul style="list-style-type: none">● 停止中は、[▲][▼]を押してから、数字ボタンを押すことで選べます。
再生範囲を変える（再生モード）	<ul style="list-style-type: none">① [再生メニュー]を数回押して「PLAYMODE」を選ぶ② [◀▶]を押して再生モードを選び、[決定]を押す All：全てのファイルを再生 1-Album：1 アルバムを再生 （「1 ALBUM」が点灯します。）



- 一時停止、スキップ、サーチ、ダイレクトプレイ、ランダムプレイ、リピートプレイの設定は CD と同様の操作でできます。（⇒ 12）
- サーチ中に音は出ません。

お知らせ

- 接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。
- USB 延長ケーブルは使用しないでください。本機では正しく動作しません。
- 曲名などは、英数字（最大 32 文字）のみ正しく表示されます。本機で対応していない文字は、異なる表示になる場合があります。

■ 曲を選んで聴く（プログラムプレイ）

好みの曲を好きな順に、最大 24 曲までプログラムできます。

- ① 停止中に、[プログラム]を押す（「PGM」が点灯します。）
- ② [▲][▼]を押してアルバムを選び
- ③ [▶▶]を押してから数字ボタンを押して曲を選び、[決定]を押す（続けて選ぶときは手順②と③の操作をくり返します。）
- ④ [▶/||]を押す（再生開始）

停止する	再生中に、 「■」を2回押す （プログラム内容は保持）
曲を追加する	プログラムプレイの停止中に、上記手順②と③を行う

- その他のプログラムプレイの操作は CD と同様の操作でできます。（⇒ 13）

お知らせ

- 電源を切ったり、セレクトターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
- USB デバイスを取り外すと、プログラム内容は取り消されます。
- プログラムの合計再生時間は表示されません。

iPod/iPhone/iPad の音楽を聴く

対応している iPod/iPhone/iPad を接続すると、iPod/iPhone/iPad の音楽を再生したり、充電したりできます。

- iPod/iPhone/iPad に付属の説明書もお読みください。

iPod/iPhone/iPad のデータ管理について、当社では一切の保証をしております。

iPod/iPhone/iPad を接続する

「iPod_Dock」接続

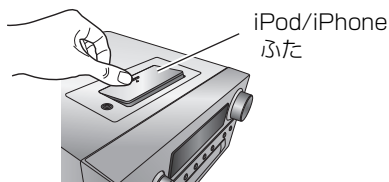
「iPod_Dock」に対応している機種
(2013 年 1 月現在)

iPod touch (第 5 世代)
iPod nano (第 7 世代)
iPhone 5

準備する

- iPod/iPhone にケースなどをつけているときはケースを取り外す

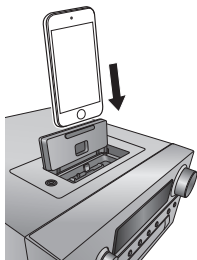
- 1 「電源」を押して電源を入れる
- 2 iPod/iPhone ふたを開ける



- 3 iPod/iPhone を接続する

iPod/iPhone をまっすぐに、しっかりと奥まで差し込む

例：



「iPod_Port」接続

「iPod_Port」に対応している機種
(2013 年 1 月現在)

iPod touch (第 1、第 2、第 3、第 4、第 5 世代)
iPod nano (第 2、第 3、第 4、第 5、第 6、第 7 世代)
iPhone 5 / iPhone 4S / iPhone 4 / iPhone 3GS / iPhone 3G
iPad (第 3、第 4 世代) / iPad 2 / iPad
iPad mini

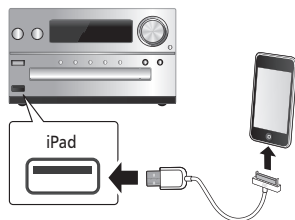
お知らせ

- iPod classic、iPod [第 4 世代 (カラーディスプレイ)、第 5 世代 (ビデオ)]、iPod nano (第 1 世代) は接続しないでください。

準備する

- 対応機器に付属されている USB ケーブル※を準備する

- 1 「電源」を押して電源を入れる
- 2 iPod/iPhone/iPad を接続する



※ USB ケーブルの詳細については、対応機器の説明書などもお読みください。

音楽を本機で聴く

1 iPod/iPhone/iPad を本機に接続する (⇒ 16)

2 [iPod] を数回押して、接続方法に合わせてセクターを切り換える

押すたびに「iPod_Dock」または「iPod_Port」に切り換わります。

iPod_Dock:

iPod/iPhone をドック端子に接続している場合 (⇒ 16, 『iPod_Dock』接続)

iPod_Port:

iPod/iPhone/iPad を USB ケーブルを使って接続している場合 (⇒ 16, 『iPod_Port』接続)

3 [▶/⏮] を押す

- [▶/⏮] は短く押してください。長く押すと、再生できない場合があります。

■ リモコンでの操作*

一時停止	[▶/⏮] または [■] を押す ● 再開するには [▶/⏮] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[⏮][▶] を押す
早送り / 早戻し (サーチ)	再生中 / 一時停止中に、 [⏮][▶] を聴きたい位置まで 押したままにする
音量調整	[+ 音量 -] を押す
選曲メニュー 画面の表示	[iPod MENU] を押す ● 選んで決定するには、[▲][▼] を押して選び、[決定] を押す ● 1 つ前の画面に戻るときは、 [iPod MENU] を押す

* iPod/iPhone/iPad の機種によっては、操作できない場合があります。

お知らせ

- 動作の表示は、iPod/iPhone/iPad の画面で確認できます。
- 一部の機種 (iPod nano 第 7 世代など) では、アルバムやアーティストを選曲し直す場合に、本機から取り外して iPod 側で操作することが必要になります。
- ご使用の iPod/iPhone/iPad またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の使用には支障ありません。できるだけ最新のバージョンをご使用ください。
- 詳しくは、下記のサイトをご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/connect/>

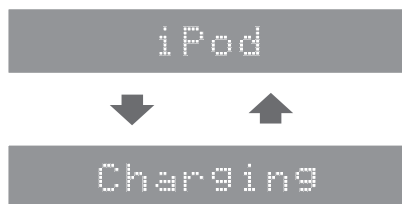
充電する

iPod/iPhone/iPad を本機に接続すると、自動的に充電が始まります。

- 「iPod_Port」接続時、電源「切」の状態では充電は始まりません。「iPod_Port」接続部から充電を行うときは、本機の電源を「入」にして、充電が始まったことを確認してから本機の電源を「切」にしてください。
- 「iPod_Dock」接続部からは、電源「入 / 切」に関係なく充電が始まります。

iPod/iPhone/iPad を本機に接続する (⇒ 16)

例：本機の電源「切」時



- 充電が完了したかどうかは、iPod/iPhone/iPad の画面でご確認ください。

お知らせ

- iPod/iPhone/iPad の充電が一度完了すると、自然放電により電池が消耗しても追加充電されません。
- iPod/iPhone/iPad の電池が切れている状態で「iPod_Port」接続から充電を行う場合は、本機の電源を「入」にして iPod/iPhone/iPad を接続し、iPod/iPhone/iPad の電源が入るまで本機の電源を「切」にしないでください。

AirPlay を楽しむ

AirPlay を使って音楽を聴く

2013年1月現在、本機は以下の機器に対応しています。

- iOS 4.3.3以降がインストールされた
iPod touch (第3、第4、第5世代)、
iPhone 5 / iPhone 4S / iPhone 4 /
iPhone 3GS、
iPad (第3、第4世代) / iPad 2 / iPad
または iPad mini
- iTunes 10.2.2以降がインストールされた
Mac または Windows のパソコン

AirPlay 機器の最新のサポート情報は、
下記のサイトをご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/audio/>

準備する

- ネットワークに接続する (⇒ 7)
- iOS 機器やパソコンを、ご家庭でお使いの
無線ネットワークに接続する

- 1 iOS 機器 (iPhone、iPod touch、iPad など) のとき
「iPod」または「ミュージック」アプリを開く

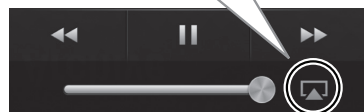
パソコンのとき

「iTunes」を開く

- 2 AirPlay アイコン  を選び、
スピーカーを選び

- 初期設定のスピーカー名は
「Panasonic PMX9 _____ *」と
表示されます。

「ミュージック」アプリの例：
iPhone (iOS 6.0.1)



例：iTunes 11.0



- 3 音楽を再生する

音を出す前に iOS 機器や iTunes の音量が
適切か確かめてください。

- はじめてご使用になるときは iOS 機器や
iTunes の音量を絞ってください。
- 再生開始後、実際に音声が出るまで少し時
間がかかります。

* 機器によって固有の番号が表示されます。

■ リモコンでの操作

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/⏸] を押す ● 再開するには [▶/⏸] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[◀◀][▶▶] を押す
音量調整	[+ 音量 -] を押す

- iOS 機器や iTunes でも操作することができます。

お知らせ

- 他のセレクトターで再生中のときでも、AirPlay の再生が優先されます。
- iOS 機器や iTunes の音量を変えると、本機の音量も変わります。(iTunes をお使いのときは設定が必要です。)
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中にセレクトターを切り換えたり、本機の電源を切 / 入したりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは 18 ページの手順 2 でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。
- iTunes で動画を再生しているときは、本機から AirPlay の再生ができないことがあります。
- 「ステレオシステム名」の編集 から、スピーカーの名前を変更できます。(⇒ 11)

順不同で聴く (シャッフル)

- 1 [再生メニュー] を数回押して「Shuffle」を選び、[決定] を押す
● 操作中は「Shuffle」が点滅します。
- 2 [◀][▶] を押して入 / 切する
iOS 機器や iTunes の画面で確認してください。

お知らせ

- AirPlay 再生中に操作してください。
- シャッフル再生の設定は、AirPlay を解除しても引き継がれます。

繰り返し聴く (リピート)

- 1 [再生メニュー] を数回押して「Repeat」を選び、[決定] を押す
● 操作中は「Repeat」が点滅します。
- 2 [◀][▶] を押して設定する
iOS 機器や iTunes の画面で確認してください。
● 「1 曲のみリピート」「全曲をリピート」「オフ」から選ぶことができます。

お知らせ

- AirPlay 再生中に操作してください。
- リピート再生の設定は、AirPlay を解除しても引き継がれます。

AirPlay をいつでも使えるようにする (ネットワーク・スタンバイ)

本機が電源切状態でも AirPlay 用スピーカーとして待機し、AirPlay をご使用のときに自動的に電源が入ります。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

- 1 [設定] を数回押して「Net Standby」を選び、[決定] を押す
- 2 [◀][▶] を押して項目を選び、[決定] を押す
● 有効にするときは「On」を選択します。

お知らせ

- 設定を有効にすると待機時消費電力が増えます。

AirPlay を楽しむ (続き)

ダイレクト接続

無線ブロードバンドルーターを利用せずに AirPlay を楽しむことができます。

- ダイレクト接続を「On」にすると、本機で記憶されているネットワーク設定は解除されます。

説明には iPhone を使用しています

- 1 [設定] を数回押して「D.Connect」を選ぶ
- 2 [◀][▶] を押して「On」を選び、[決定] を押す
- 3 [◀][▶] を押して「OK? Yes」を選び、[決定] を押す
「PW _____」が表示されます。
 - 「_____」部には無線ネットワークのパスワードが表示されます。(パスワードは機器ごとに異なります)
- 4 iPhone を本機の無線ネットワーク「PMX9 _____ ※ 1.2」に接続する



- 5 本機に表示された無線ネットワークのパスワードを入力する
- 6 iPhone が無線ネットワークにつながったことを確認する

お知らせ

- 他のネットワーク設定を行ったときは、ダイレクト接続設定は解除されます。
- ダイレクト接続が「On」のときは、本機はインターネットに接続されません。そのため、ソフトウェアのアップデートや接続の信号レベルを確認することはできません。
- AirPlay を使わないときは、本機へのダイレクト接続を切ってください。
- パソコンを使用する場合は、パソコン内のすべての共有ファイルが暗号化されているか確認してください。
- この機能は、「オープンシステム認証」に対応しており、「共有キー認証」には対応していません。

※ 1 機器によって固有の番号が表示されます。

※ 2 「ステレオシステム名」の編集から、機器の名前を変更できます。(⇒ 11)

パスワードを表示する

パスワードは本機によって作成され、パスワードを変更するまで記憶されます。

- ① ダイレクト接続が「On」の状態で、[設定] を数回押して「D.Connect」を選ぶ
- ② [◀][▶] を押して「On」を選び、[決定] を押す
 - パスワードが表示されます。「PW」に続く 5 桁の番号がダイレクト接続用のパスワードです。
- ③ リモコン上の任意のボタンを押して、終了する

パスワードを変更する

- ① ダイレクト接続が「Off」の状態で、[設定] を数回押して「D.Connect」を選ぶ
- ② [◀][▶] を押して「Change PW」を選び、[決定] を押す
- ③ [◀][▶] を押して「OK? Yes」を選び、[決定] を押す
 - 新しいパスワードが表示されます。「PW」に続く 5 桁の番号がダイレクト接続用のパスワードです。
- ④ リモコン上の任意のボタンを押して、設定を終える

■ パスワードの変更について

パスワードを変更した後に、本機から新しいパスワードの入力を求められない場合、以下の設定を行ってください。

- iOS 機器の場合 (iPod touch/iPhone/iPad)
以下の手順は iOS 6.0.1 をもとに説明しています

本機の無線ネットワークを選択する前に

- ① [⦿] を選ぶ
- ② 「このネットワーク設定を削除」を選び、「削除」を選ぶ
- ③ 本機の無線ネットワークを選び、新しいパスワードを入力する



● Mac または Windows のパソコンの場合

古いパスワードをパソコンが記憶をしている場合、新しいパスワードと書き換える

お知らせ

- 詳細は機器の説明書をお読みください。

DLNA 機器の音楽を 本機から再生する

Windows7 のインストールされたパソコンやスマートフォンなどの DMC^{*1} 対応機器を操作して、DLNA サーバーの音楽を本機（レンドラー）のスピーカーから再生して楽しめます。

準備する

- ネットワークに接続する（⇒ 7）
- DMC 対応機器（DMC 対応ソフトウェアのインストールが必要です）をご家庭でお使いの無線ネットワークに接続する
- Windows Media[®] Player のライブラリやスマートフォンなどにコンテンツやフォルダを追加する
－Windows Media[®] Player のプレイリストからは、ライブラリに保存されたコンテンツしか再生できません。

1 [電源] を押して電源を入れる

- 表示部に「W」が表示されていることを確認してください。
- 「W」が表示されていない場合はネットワーク設定を確認してください。（⇒ 7）

2 DMC 対応機器を操作する

- 初期設定の機器（レンドラー）名は「Panasonic PMX9 _ _ _ _ _ *2.3」と表示されます。
- 接続機器の設定および操作方法については、機器の説明書をお読みください。

■ 再生可能なフォーマット

DLNA サーバー側で非対応のファイルフォーマットは本機では再生できません。

オーディオコーデック	拡張子の例
MP3	.mp3
WAV	.wav
FLAC	.flac

お知らせ

- DLNA 接続に関する最新のサポート情報は下記のサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/>
- コンテンツや接続機器によっては、再生できないことがあります。

^{*1} デジタルメディアコントローラー

^{*2} 機器によって固有の番号が表示されます。

^{*3} 「[ステレオシステム名] の編集」から、機器の名前を変更できます。（⇒ 11）

Bluetooth[®] を楽しむ

Bluetooth[®] に対応した機器を本機に登録すると、機器の音楽などをワイヤレスで楽しむことができます。

- 接続機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法、表示、動作が異なる場合があります。
- 本機から Bluetooth[®] 対応機器への送信はできません。

準備する

- 本機と Bluetooth[®] 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
- 本機と他の Bluetooth[®] 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。

機器に登録する

1 [セクター] を数回押して「BLUETOOTH」を選ぶ

- 表示部に「Pairing」と表示された場合
⇒ 手順 3 へ

2 [再生メニュー] を押して「New Device」を選び、[決定] を押す

表示部に「Pairing」と表示されます。

3 Bluetooth[®] 機器側で Bluetooth[®] の接続画面などを開き、機器名を選んで接続する

登録された機器名が表示部に 2 秒間表示されます。

4 Bluetooth[®] 機器で音楽などを再生する

お知らせ

- Bluetooth[®] 機器の詳細は、機器の説明書もお読みください。
- バスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ 4 つ）を入力してください。
- 登録できる Bluetooth[®] 機器は最大 8 台です。最大登録数を超過して登録すると、登録の古いものから上書き登録され、以前の登録が取り消されることがあります。この場合、登録をやり直してください。

機器を再生する

- 1 [セクター] を数回押して「BLUETOOTH」を選ぶ
本機表示部に「Ready」と表示されます。
- 2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、機器名を選んで接続する
登録された機器名が表示部に 2 秒間表示されます。
- 3 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する

お知らせ

- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。
- 「BLUETOOTH」セクターを選ぶと、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとします。

接続を解除する

- ① [再生メニュー] を押して「Disconnect?」を選ぶ
- ② [◀▶] を押して「OK? Yes」を選び、
[決定] を押す

通信品質を切り換える

音質、通信のどちらかを重視するかを設定します。
高音質でお楽しみいただく場合、「Mode 2」をお選びください。

- ① [セクター] を数回押して「BLUETOOTH」を選ぶ
- ② [再生メニュー] を数回押して「Link Mode」を選ぶ
- ③ [◀▶] を押してモードを選び、[決定] を押す
Mode 1：通信の安定性重視
Mode 2：音質重視（お買い上げ時の設定）

お知らせ

- 音が途切れる場合は「Mode 1」をお選びください。
- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。

入力レベルの変更

本機の音量を大きくしても出力に不足を感じる場合、入力レベルを変更してください。

- ① [再生メニュー] を数回押して「Input Level」を選ぶ
- ② [◀▶] を押してレベルを選び、[決定] を押す
• 「0」から「+ 2」まで調整できます。

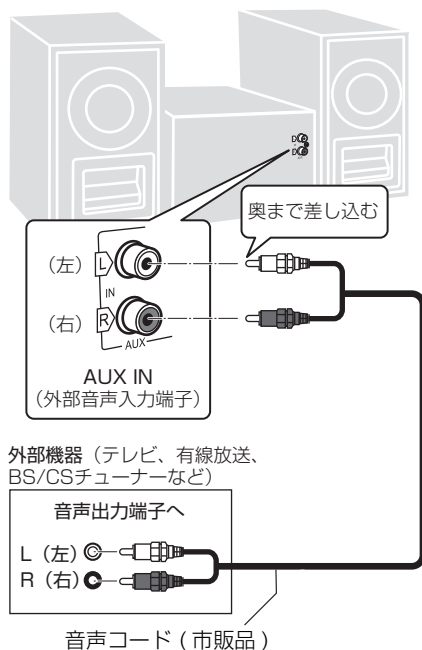
お知らせ

- 音質が乱れた場合、「Level 0」を選択してください。
- お買い上げ時の設定は「Level 0」です。

リモコンでの操作

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/] を押す • 再開するには [▶/] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[◀◀][▶▶] を押す
早送り / 早戻し (サーチ)	再生中 / 一時停止中に、 [◀◀][▶▶] を聴きたい位置まで 押したままにする

外部機器の音声を聴く



準備する

- ① 外部機器の音質効果を無効にしておく
- ② 外部機器で好みの放送局を受信しておく、または再生の準備をしておく
- ③ 本機の電源を入れておく

- 1 [セクター] を数回押して「AUX」を選ぶ
- 2 外部機器を再生する

音質・音場効果を楽しむ

お好みの音質や音場を設定してお楽しみください。

低域 / 高域を調整する

- 1 [サウンド] を数回押して「BASS」(低域) または「TREBLE」(高域) を選ぶ
 - 2 音質・音場メニュー画面の表示中に、[◀][▶] を押してレベルを調整する
 - 各レベルはそれぞれ「-4」から「+4」まで調整できます。
- 本体で調整するには
BASS つまみ・TREBLE つまみを回して調整する

サラウンド効果を楽しむ

- 1 [サウンド] を数回押して「Surround」を選ぶ
 - 2 音質・音場メニュー画面の表示中に、[◀][▶] を押して「On Surround」を選ぶ
- 解除するには
手順2で「Off Surround」を選ぶ

好みの音質を楽しむ (EQ: イコライザー)

[プリセットEQ] を数回押して好みの音質を選ぶ

Heavy: ロックなどパンチを効かせるとき
Soft: BGM として聴くとき
Clear: ジャズなど高音部を鮮明にするとき
Vocal: ボーカルにつやを出したいとき
Flat: 効果を使わないとき
(お買い上げ時の設定)

「Flat」以外に設定すると、「EQ」が点灯します。

豊かな低音で聴く

低い周波数の重低音を大きくします。

[D.BASS] を数回押して「On D.BASS」を選ぶ
“D.BASS” が点灯します。

- 解除するには
[D.BASS] を数回押して「Off D.BASS」を選ぶ

お知らせ

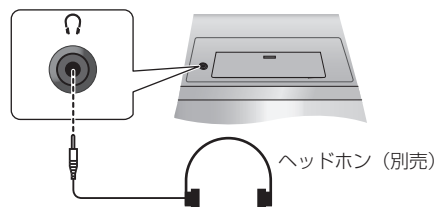
- 再生する音源によっては効果が少ないものもあります。
- 再生する音源によっては、意図したとおりの音質・音場効果が得られないことがあります。このようなときは機能を切ってください。

Bluetooth®

使いたく
ない

便利な機能

ヘッドホンで聴く



プラグタイプ：
φ3.5 mm ステレオミニプラグ

■ お願い

- ヘッドホンを接続するときは、音量を下げてください。また、耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

電源の切り忘れを防ぐ (オートオフ)

無音の状態が 20 分以上続き、その間ボタン操作などがなかったときに、自動的に電源が切れます。

- お買い上げ時の設定は「On」です。
- この機能はラジオを選択している場合には働きません。

■ 解除するには

1 [設定] を数回押して「Auto Off」を選ぶ

2 [◀][▶] を押して「Off」を選び、[決定] を押す

- 再度、有効にするときは「On」を選択します。

「On」に設定すると、「A.OFF」が点灯します。

お知らせ

- ネットワーク・スタンバイ機能(⇒ 19)を「On」に設定すると、オートオフ機能は「On」に固定されます。設定を変更する場合はネットワーク・スタンバイ機能を「Off」に設定してください。
- オートオフ機能は無効にしない限り、電源を切/入しても働きます。
- Bluetooth® 機器を本機と接続している場合、オートオフ機能は働きません。

表示部の明るさを変える (ディマー)

ボタン操作をしているときを除いて、表示部が暗くなります。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

1 [設定] を数回押して「Dimmer」を選ぶ

2 [◀][▶] を押して項目を選び、[決定] を押す

- 有効にするときは「On」を選択します。

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンを操作すると、本機にも影響してしまうことがあります。

このときは、リモコンモードを変えてください。

- お買い上げ時の設定は「Remote 1」です。

本体側を「Remote 2」に切り換えるには：

1 [CD] を押して、セクターを「CD」に切り換える

2 本体の [CD] を押したまま、リモコンの「2」を 2 秒以上押したままにする

「Remote 2」と表示されます。

リモコン側を「Remote 2」に切り換えるには：

3 リモコンの [決定] と「2」を 4 秒以上押したままにする

動作を確認してください

リモコンの操作ができれば、正しく設定されています。リモコンが働かないときは、表示部に表示されている数字でリモコン側を切り換えてください。

例：「U30 REM2」と表示された場合
手順 3 を行ってください。

■ リモコンモードを「Remote 1」に戻すには

- ① [CD] を押して、セクターを「CD」に切り換える
- ② 本体の [CD] を押したまま、リモコンの「1」を 2 秒以上押したままにする
 - 「Remote 1」と表示されます。
- ③ リモコンの [決定] と「1」を 4 秒以上押したままにする

タイマーを使う

時計を合わせる

- 1 [時計 / タイマー] を数回押して「CLOCK」を選ぶ
- 2 時計画面の表示中に [▲][▼] を押して時計を合わせる
 - 時刻は数字ボタンでも入力できます。
例：16 時 5 分
[1] → [6] → [0] → [5] を押す
(間違えた場合は、[消去] を押す)

- 3 [決定] を押して時刻を決定する
 - 時計を確認するには
[時計 / タイマー] を数回押して「CLOCK」を選ぶ
10 秒間時計が表示されます。
 - 電源切時も [時計 / タイマー] を押すことで表示できます。

お知らせ

- 電源プラグを抜いたり停電したときは、時計を合わせ直してください。
- 本機の時計は 24 時間表示です。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的な時刻補正をお勧めします。

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

[スリープ] を押してタイマーの時間を選ぶ

押すたびに：

「30min」 → 「60min」 → 「90min」

↑
「Off」 ← 「120min」 ←

(タイマー解除)

「Off」以外に設定すると、「SLEEP」が点灯します。

- 残り時間を確かめるには
[スリープ] を押す
 - 数回押すと設定を変えることができます。

お知らせ

- おめざめタイマー (⇒ 右記) と組み合わせて使う場合、おやすみタイマーが優先されます。

おめざめタイマー

設定した時刻になると、毎日、電源が入って指定した音源を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

- 「AirPlay」, 「BLUETOOTH」, 「DLNA」セレクトのおめざめタイマーはできません。

準備する

- 時計を合わせる (⇒ 左記)
- 再生する音源 (CD、USB デバイス、ラジオ、AUX (外部機器)、iPod/iPhone/iPad) を準備する
- (ラジオの場合) FM/AM の放送局をチャンネルに記憶させる (⇒ 13, 14)

- 1 [時計 / タイマー] を数回押して「TIMER Adjust」を選ぶ
- 2 設定画面の表示中に [▲][▼] を押して開始時刻を設定し、[決定] を押す
 - 時刻は数字ボタンでも入力できます。
(⇒ 左記手順 2)
- 3 手順 2 をくり返して終了時刻を設定する
- 4 [再生 ②] を押してタイマー「②」を点灯させる
- 5 [電源] を押して電源を切る
 - 電源を切らないとタイマーは動作しません。

設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン (徐々に大きく) して再生します。
(動作中は「②」が点滅します。)

- 設定したタイマーを確認するには
[時計 / タイマー] を数回押して「TIMER Adjust」を選ぶ
設定時刻、音源、音量の確認ができます。
- タイマーを無効にするには
電源を入れた状態で [再生 ②] を押して、「②」を消す
- タイマー設定の音源や音量を変えるには
タイマーを無効にしてから音源と音量を変え、上記手順 4 と 5 を行う

お知らせ

- おめざめタイマー設定後に、設定時と異なる音源、音量のまま電源を切っても、おめざめタイマーは設定時の音源、音量で動作します。

ソフトウェアを更新する

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のソフトウェアを必要に応じて更新しています。

- 故障の原因になりますのでソフトウェアの更新中は絶対に電源コードを抜かないでください。更新中は「Linking」、「Updating」などの進捗状況が表示されます。
- ソフトウェアの更新中は他の操作はできません。

準備する

- ネットワークに接続する (⇒ 7)
(インターネットに繋がったネットワークに接続してください。)

1 「設定」を数回押して「SW Update」を選び、「決定」を押す

「設定」を押すたびに表示が切り換わります。

2 「◀」「▶」を押して「Update? Yes」を選び、「決定」を押す

更新が完了すると「Success」と表示されます。

3 電源プラグを抜く

4 3分以上たってから、電源プラグを差し込む

お知らせ

- 最新のソフトウェアのときは、「No Need」と表示されます。
- 更新には数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。

■ ソフトウェアのバージョンを確認する

- ① 「設定」を数回押して「SW Version」を選び、「決定」を押す
バージョン情報が表示されます。
- ② 「決定」を押し、終了する

CD の取り扱い

■ 取り扱い上のお願

CD そのものの破損や、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをご守りください。

- ー鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- ーディスククリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- ー紙やシール、ラベルを貼らない
- ー傷つき防止用のプロテクターなどを使わない
- ーシールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

持ちかた



再生面（光っている面）には触れない

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



再生面 内側から外側へ
(光っている面)

つゆがついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、つゆがついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

CD を良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々掃除されることをお勧めします。

推奨品：CD レンズクリーナー（品番：RP-CL510）

本機のお手入れ

センターユニット：

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布で軽くふいてください。

スピーカー：

- 乾いたきめの細かい布（眼鏡ふきなど）でふいてください。

共通：

- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

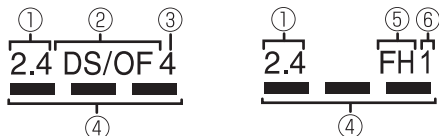
無線機能使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線機器は、2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 変調方式が DSSS と OFDM 方式
- ③ 電波と干渉距離 40 m 以下
- ④ 2.400 GHz～2.4835 GHz の全帯域を使用
- ⑤ 変調方式が FH-SS 方式
- ⑥ 電波と干渉距離 10 m 以下

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止しうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先： パナソニック株式会社
パナソニック お客様ご相談センター
(⇒ 裏表紙)

■ 機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / へがす

■ 使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID: ネットワークを識別するための名前）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- 電子レンジ
- デジタルコードレス電話機
- その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
- 電波が反射しやすい金属物などの近く
- 電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。
- すべての Bluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信する Bluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 機器は、見通し距離約 10 m 以内でご使用ください。
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、Bluetooth® 機器が正常に動作しないことがあります。
- 無線 LAN を使用中に Bluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

■ 用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途*での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

* ハイセイフティ用途: きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。
例: 原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

こんな表示が出たら

表示文字	意味	調べるところ・対策
Adjust CLOCK	タイマーを動作させるには時計設定が必要です。	時計を合わせてください。(⇒ 25)
Adjust TIMER	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定していません。	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定してください。(⇒ 25)
Auto Off	本機の使用が 20 分間なかったため、オートオフ機能 (⇒ 24) が働き、電源が切れます。	取り消すときは、[決定]などを押してください。
CANNOT SET	おめざめタイマーの動作設定ができません。	「AirPlay」、「BLUETOOTH」、「DLNA」以外のセレクトに切り換えてください。
Checking Connection	接続した iPod/iPhone/iPad を確認中です。	表示が消えてから操作を行ってください。
DL Error	ソフトウェアのダウンロードに失敗しました。	しばらく待ってから、やり直してください。
	ネットワークがインターネットに接続されていません。	お使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がインターネットに接続されているか、確かめてください。
Error	誤った操作をしています。	操作をやり直してください。
Fail	ネットワークの設定に失敗しました。	手順を確認し、ネットワークの設定をやり直してください。(⇒ 7)
	ソフトウェアのアップデートに失敗しました。	電源を切ったあと、電源プラグを抜き差しして、アップデートをやり直してください。
F61 F76	異常が発生しました。（本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切ります。）	著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。しばらく待ってから再び電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます。）それでも同じ現象が起こる場合は、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。
iPod_Dock Over Current Error iPod_Port Over Current Error	iPod/iPhone/iPad に過大な電流が流れるのを検出しました。	iPod/iPhone/iPad を本機から取り外して、接続をやり直してください。(⇒ 16)
Level -	ダイレクト接続が「On」の時は、無線接続の信号レベルは確認できません。	信号レベルを確認するためには、ダイレクト接続を「Off」にしてください。(⇒ 20)
Level 0	ネットワークに接続されていません。	本機の電源を切/入した後、ネットワークの接続をやり直してください。(⇒ 7) それでも表示される場合は、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へご相談ください。
Linking	ネットワーク設定を完了するために、本機が無線ブロードバンドルーターと通信しています。	お使いのルーターによっては設定完了までに数分かかる場合がありますが、本機をルーターの近くに置くと、短縮できる場合があります。

表示文字	意味	調べるところ・対策
No Connect	ネットワークに接続されていません。	ネットワークの接続を確かめてください。(⇒ 7)
No Device	iPod/iPhone/iPad が正しく接続されていません。	iPod/iPhone/iPad の電源を入れ直し、接続をやり直してください。(⇒ 16)
No Disc	CD が入っていません。 または、曲の入っていない CD-R などが入っています。	再生できる CD を入れてください。(⇒ 12)
No Play	再生できない曲です。	(その曲をスキップして再生します。)
	再生できないディスクです。	再生できるディスクに取り換えてください。(⇒ 12)
	USB デバイス内のファイルが再生できないフォーマットです。	「.mp3」、「.MP3」、「.flac」や「.FLAC」の拡張子のあるものを再生してください。(⇒ 15)
Not Supported	<ul style="list-style-type: none"> ● 対応していない iPod/iPhone/iPad です。 ● iPod touch/iPhone/iPad にロックがかかっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● iPod/iPhone/iPad が対応している機種かどうか、確認してください。(⇒ 16) 対応している iPod/iPhone/iPad のときは、iPod/iPhone/iPad の電源を入れ直し、接続をやり直してください。 ● 無線 LAN 接続の「接続方法 2」(⇒ 9) 実行時は、iPod touch/iPhone/iPad のロックを解除してから接続手順をやり直してください。 ● ネットワークの接続を確かめてください。(⇒ 7)
PGM Full	プログラム曲数が 24 曲を超えようとしています。	(以上のプログラムはできません。)
Reading	情報を読み込んでいます。	「Reading」が消えてから操作してください。
Set Wi-Fi	お使いの iPod touch/iPhone/iPad が本機と無線接続されていません。	ネットワークの接続を確かめてください。(⇒ 7)
U30 REM1 U30 REM2	リモコンモードの設定が本機と合っていないせん。	<ul style="list-style-type: none"> ● “U30 REM1” が表示される場合、リモコンの [決定] と [1] を 4 秒以上押したままにしてください。 ● “U30 REM2” が表示される場合、リモコンの [決定] と [2] を 4 秒以上押したままにしてください。
Wait	電源「切」時などに表示されます。 (最大 1 分半)	表示が消えるまでお待ちください。
“W” が点滅	ネットワークの通信が途切れるなどした場合に点滅します。	<ul style="list-style-type: none"> ● しばらく待っても点滅が止まらない場合は、接続先のルーターが正しく動作しているかを確認してください。 ● 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。本機と機器を離してお使いください。 ● ネットワークの接続を確かめてください。(⇒ 7)

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の温度上昇について

長時間使用すると、本機が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

ソフトウェアを更新していますか？

本機の動作を改善するために、ソフトウェアは必要に応じて更新されています。(⇒ 26)

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

- ① 電源プラグを抜く
 - 3分以上たってから手順②を行ってください。
- ② 本体の[電源 〇/I]を押しながら電源プラグを接続する
- ③ 表示部に「-----」が表示されるまで、本体の[電源 〇/I]を押したままにする
 - リモコンモードなどすべての設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。

共通

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差しかえてみてください。

CD

表示部が変わらない

再生が始まらない

- ディスクが傷ついていたたり、汚れていたりしませんか。(⇒ 26)
- 寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に「つゆつき」が生じることがあります。故障の原因になりますので、「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約2～3時間）、電源を切ったまま放置してください。

ラジオ

雑音、ひずみが多く、うまく受信できない

- FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナの両方が接続されていますか。(⇒ 5)
- マニュアルチューニング(⇒ 14)で放送局の周波数に合わせてから、アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。
- アンテナ線を電源コードや他機器の接続ケーブルなどからできるだけ離してください。
- 送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。(⇒ 14)
- テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。

iPod/iPhone/iPad

接続しても認識されない

操作できない

- 正しいセクターを選んでますか。接続先に合わせて「iPod_Dock」または「iPod_Port」を選んでください。
- iPod/iPhone/iPad の接続方法は正しいですか。(⇒ 16)
- iPod/iPhone/iPad の電池が切れていませんか。iPod/iPhone/iPad を充電してから(⇒ 17)、接続をやり直してください。
- iPod/iPhone/iPad の電源を切 / 入してから、接続をやり直してください。

充電が始まらない

- 本機の電源が「切」になっていませんか。「iPod_Port」接続では、本機の電源を「入」にして、充電が始まったことを確認してから「切」にしてください。
- 電池の切れた iPod/iPhone/iPad を充電する場合：
 - －「iPod_Port」接続時は、本機の電源を「入」にしてください。また、iPod/iPhone/iPad の操作ができるようになるまでは本機の電源を「切」にしないでください。
 - －「iPod_Dock」接続時は、iPod/iPhone が操作できるようになるまで「Checking Connection」の表示が出ますが、充電は開始されています。

AirPlay

ネットワークに接続できない



- ネットワーク接続や設定は正しいですか。(⇒ 7)
- 無線 LAN 機能を有効にしてください。(⇒ 11)
- WPS 方式で設定できないとき (ルーターのセキュリティ方式が WEP に設定されているときなど) は、「接続方法 4」(⇒ 10) で設定してください。
- ルーターの設定でマルチキャストを有効にしてください。
- ダイレクト接続のパスワードが変更になっている可能性があります。新しいパスワードを使用してください。(⇒ 20)

AirPlay 機能で本機に接続できない

- 本機と iOS 機器やパソコンの接続先が同じネットワークになっていますか。(⇒ 7)
- iOS 機器やパソコンのネットワーク接続を切/入してから、本機と接続し直してください。
- ネットワーク・スタンバイ (⇒ 19) を解除し、本機の電源を切/入してから、本機と接続し直してください。

再生が始まらない

音が途切れる

- 有線 LAN 接続を行ってください。(⇒ 7)
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。本機と機器を離してお使いください。
- 金属キャビネットの中など電波を遮るようなところに本機を置かないでください。
- 本機とルーターを近づけてご使用ください。
- ダイレクト接続が「On」のときは、AirPlay 対応の機器を本機に近づけてください。
- 複数の無線機器がルーターに接続されているときは、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器を使用するのを控えてください。
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中にセレクターを切り換えたり、本機の電源を切/入したりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは iOS 機器や iTunes でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。(⇒ 18)
- 「**W**」が点灯していて AirPlay アイコン  が表示されないときは、ルーターの電源を入れ直してみてください。
- 「**W**」が点灯していて AirPlay アイコン  が表示されているときは、iOS 機器やパソコンでネットワーク接続を切/入した後、接続先がご利用中の SSID かを確かめてください。
- AirPlay 再生が停止したときは、iOS 機器や iTunes で再生状態を確認してください。

Bluetooth®

Bluetooth® 機器が登録できない

- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。

Bluetooth® 機器と無線接続されない

- Bluetooth® 機器が登録されていないか、Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。(⇒ 21)
- 本機が他の Bluetooth® 機器と接続されていますか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。

Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない

- お使いの Bluetooth® 機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth® 機器の説明書などをお読みください。

USB

USB デバイスを接続しても認識されない

- ご使用の USB デバイスが他の機器で認識できるかどうか、確認してください。

[▶/II] を押しても再生が始まらない

- 本機では、「.mp3」、「.MP3」、「.flac」や「.FLAC」の拡張子のあるもののみ再生できます。また、容量が 32 GB を超える USB デバイスの動作は保証していません。

操作に時間がかかる

- 容量の大きい USB デバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。

リモコン

リモコン操作ができない

- 本機の受信部とリモコンの間に障害物があるかもしれませんか。(⇒ 6)
- 本機とリモコンのリモコンモードが異なっている場合は、リモコンのリモコンモードを本機と合わせてください。(⇒ 24)

本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する 他の機器のリモコンで本機が誤動作する

- 他の機器が干渉しないように、本機とリモコンのリモコンモードを変更してください。(⇒ 24)

仕様

■ アンプ部

実用最大出力： 60 W + 60 W (JEITA)
実用最大出力合計値： 120 W (同時駆動、JEITA)

■ CD 部

再生可能ディスク： 8 cm/12 cm
CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット： CD-DA
サンプリング周波数： 44.1 kHz
波長： 790 nm (CD)
レーザーパワー： CLASS 1
チャンネル数： 2 チャンネル (ステレオ)

■ チューナー部

FM
プリセットメモリー登録数： 15 局
受信周波数帯域： 76.0 MHz ~ 90.0 MHz
(100 kHz ステップ)
アンテナ端子： 75 Ω (不平衡型)
AM
プリセットメモリー登録数： 15 局
受信周波数帯域： 522 kHz ~ 1629 kHz
(9 kHz ステップ)

■ スピーカー部

スピーカーユニット
ウーハー： 14 cm コーン型 × 1
ツイーター： 1.9 cm ドーム型 × 1
スーパーツイーター： 1.2 cm ピエゾ型 × 1
インピーダンス： 3 Ω
寸法 (幅×高さ×奥行)： 161 mm × 238 mm × 264 mm
質量： 約 3.0 kg

■ Bluetooth® 部

バージョン： Bluetooth® Ver 3.0
送信出力： Class 2
通信プロファイル： A2DP(受信：SCMS-T 対応)、AVRCP
接続周波数： 2.4 GHz band FH-SS
見通し通信距離： 約 10 m *1

■ Wi-Fi/AirPlay 部

ワイヤレス LAN 規格： IEEE802.11b/g
周波数範囲： 2.4 GHz 帯
セキュア方式： WEP (64 bit/128 bit)、WPA™、WPA2™
WPS version： Version 2.0 (WEP not support)

■ 入出力端子部

「iPod_Port」接続用端子：
USB インターフェース： USB 2.0
再生フォーマット： MP3 (*.mp3)、FLAC (*.flac)
対応 USB メモリ容量： 最大 32 GB
最大フォルダ数 (アルバム数)： 255
最大ファイル数 (曲数)： 2500 (1 アルバムあたり 999)
ファイルシステム： FAT16、FAT32
ID3 タグ： v2.3
供給電流： DC OUT 5 V、2.1 A MAX
「iPod_Dock」接続用端子：
供給電流： DC OUT 5 V、1.0 A MAX
ヘッドホン端子： ステレオミニ (Ø3.5 mm)
外部入力端子： ピンジャック
LAN 端子： 10BASE-T/100BASE-TX

■ 対応フォーマット (USB、DLNA)

MP3
サンプリング周波数： 32/44.1/48 kHz
量子化ビット数： 16 bits
チャンネル数： 2 ch
ビットレート： 8 ~ 320 kbps
FLAC *2
サンプリング周波数： 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数： 16、24 bits
チャンネル数： 2 ch
WAV (DLNA のみ)
サンプリング周波数： 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数： 16、24 bits
チャンネル数： 2 ch

■ 総合

電源： AC100 V、50/60 Hz
消費電力： 56 W
電源切 (スタンバイ *3) 時の消費電力 約 0.2 W
寸法 (幅×高さ×奥行) (センターユニット)： 210 mm × 120 mm × 266 mm
質量 (センターユニット)： 約 3.1 kg
許容動作温度： 0 °C ~ +40 °C
許容相対湿度： 35 % ~ 80 % RH (結露なきこと)

*1 高さ 1 m、MODE 1 (通信安定性重視モード) の条件で測定
*2 非圧縮 FLAC ファイルの場合は、正しく動作しないことがあります。
*3 iPod/iPhone/iPad 非充電時

注：

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

著作権など

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは一部記載していません。

Made for iPod iPhone iPad



「Made for iPod」「Made for iPhone」「Made for iPad」とは、それぞれiPod、iPhone、iPad専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。この製品とiPod、iPhone、iPad を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

AirPlay、AirPlayのロゴ、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。

iPad は、Apple Inc.の商標です。

App StoreはApple Inc. のサービスマークです。

Android、Google Play、Chrome は、Google Inc. の商標です。



- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setupのマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。

DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

FLAC Decoder
Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



必要
な
と
き




安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグを抜く

- 異常があったときには、電源プラグを抜く
- 煙が出たり、異常なおいや音がある
 - 音が出ないことがある
 - 内部に水や異物が入った
 - 電源プラグが異常に熱い
 - 本体に変形や破損した部分がある
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)



- 傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
 - 乾電池は充電しない
 - 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
 - ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
 - 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
 - ⊕ と ⊖ を逆に入れない
 - 被覆のはがれた電池は使わない
- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

分解、改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない



接触禁止

感電の原因になります。

警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。



ぬれ手禁止

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけた
りぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の
原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容
器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近
くで本機を使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響
を及ぼすことがあり、誤動作による事
故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部
から 22 cm 以内で本機を使用しない



本機からの電波がペースメーカーの作
動に影響を与える場合があります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使
用しない



本機からの電波が医療用電気機器に影
響を及ぼすことがあり、誤動作による
事故の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時
間続けて聴くと、聴力が大きく損なわ
れる原因になります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明の
おそれがあります。目をこすら
ずに、すぐにきれいな水で洗っ
たあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、
皮膚の炎症やけがの原因になるの
で、きれいな水で十分に洗い流し
たあと、医師にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で
絶縁不良となり、火災の原因になります。
● 電源プラグを抜き、乾いた布で
ふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱
による火災の原因になります。
● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセ
ントは、使わないでください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池
の液もれや、発熱・破裂の原因になり
ます。

注意

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとす
ると、コードが傷つき、火災・感電の原
因になることがあります。また、引っ
かかって、けがの原因になることがあ
ります。

異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因
になることがあります。
● 直射日光の当たるところ、ストーブ
の近くでは特にご注意ください。
● また、外装ケースや内部部品が劣化する
原因にもなりますのでご注意ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください) (続き)

⚠ 注意

不安定な場所に置かない



高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 天面、側面、背面の通気孔をふさがしないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスク、USB デバイスや iPod/iPhone/iPad は、保護のため取り出し、または取り外しておいてください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

CD トレイに指をはさまれないように注意する



指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
● 特にお子様にはご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

本機のアンテナを目や顔に近づけない、人に向けない



アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。

- アンテナを使用するときは、十分注意してください。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
● 設置・工事は販売店にご相談ください。

スピーカーは付属のものを接続する



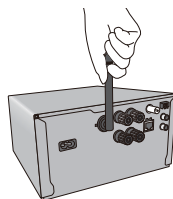
付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

本機のアンテナをつかんで持ち上げたり、運んだりしない



落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。



ヘッドホン接続前に、音量を下げる



音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■ **まず、お買い上げの販売店へご相談ください。**
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	()	—	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは
「こんな表示が出たら」(⇒ 28)、「故障かな!？」
(⇒ 30) でご確認のあと、直らないときは、まず
電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容
をご連絡ください。

●製品名	CD ステレオシステム
●品番	SC-PMX9
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
 - 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
- ※ 修理料金は次の内容で構成されています。


技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8 年**


当社は、この CD ステレオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち
切り後 8 年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・
- 修理に関するご相談は・・・

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時
フリーダイヤル パナは 365日
 **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話
フリーダイヤル パナは イイヨ
 **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- ・上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに
利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただく
のために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委
託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお
問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

必要なとき

保証とアフターサービス (よくお読みください) (続き)

■ 各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区		近畿地区	
札幌 ☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7	滋賀 ☎(077)582-5021	栗東市小栴9丁目4-10
旭川 ☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166	京都 ☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原 3番地
帯広 ☎(0155)33-8478	帯広市西20条北 2丁目23-3	大阪 ☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
函館 ☎(0138)48-6630	函館市西栲梗町589-241	奈良 ☎(0743)59-2770	大和郡市筒井町 800番地
東北地区		和歌山 ☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
青森 ☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡 字稲村262-1	兵庫 ☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4
秋田 ☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1	中国地区	
岩手 ☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43	鳥取 ☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
宮城 ☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町 7-4-18	米子 ☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
山形 ☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75	松江 ☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
福島 ☎(024)991-9308	郡山市備前館2丁目5	出雲 ☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
首都圏地区		浜田 ☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
栃木 ☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	岡山 ☎(086)242-6236	岡山市北区野田 3丁目20-14
群馬 ☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1	広島 ☎(082)295-5011	広島市西区南観音 1丁目13-5
茨城 ☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3	山口 ☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
埼玉 ☎(048)728-8960	桶川市赤城2丁目4-2	四国地区	
千葉 ☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5	香川 ☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分 359番地3
東京 ☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17	徳島 ☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
山梨 ☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1	高知 ☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
神奈川 ☎(045)847-9720	横浜市港南区日野 5丁目3-16	愛媛 ☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉 75-1
新潟 ☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14	九州地区	
中部地区		福岡 ☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
石川 ☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目 266番地	佐賀 ☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸 字上深町3044
富山 ☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4	長崎 ☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
福井 ☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14	大分 ☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
長野 ☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11	宮崎 ☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉 2099-2
静岡 ☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松 2丁目24-24	熊本 ☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
愛知 ☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町 8-10	鹿児島 ☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
岐阜 ☎(058)278-6720	岐阜市中鶯4丁目42	沖縄地区	
三重 ☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421	沖縄 ☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

1112

さくいん

英・数字

AirPlay	18
AM ループアンテナ	3、5
BASS	23
Bluetooth®	21
CD	12
D.BASS	23
DLNA	21
FLAC	15、21
FM 簡易型アンテナ	3、5
iPod/iPhone/iPad	16
IP アドレス	11
MP3	15、21
TREBLE	23
Wi-Fi MAC アドレス	11
1 曲再生	12、19

あ行

オートオフ	24
オートチューニング	14
オートプリセットメモリー	13
屋外アンテナ	14
おめざめタイマー	25
おやすみタイマー	25
音質・音場	23

か行

聴く	
CD	12
iPod/iPhone/iPad	16
ラジオ	13
工場出荷設定	30

さ行

サーチ	12、17、22
サラウンド	23
シャッフル	19
消音	6
スキップ	12、17、19、22
スピーカー	4
ソフトウェアの更新	26

た行

タイマー	
おめざめ	25
おやすみ	25
ディマー	24
時計	25

な行

ネットワーク設定	7
ネットワークの接続	7
ネットワーク・スタンバイ	19

は行

パソコン	18
プリセット EQ (イコライザー)	23
プリセットチューニング	13
ヘッドホン	24

ま行

マニュアルチューニング	14
マニュアルメモリー	14
モノラル受信	14

ら行

ラジオ	13
ランダム再生	12
リピート再生	12、19
リモコン	3、6
リモコンモード	24

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。
- (⇒ 30. 「本機の設定をお買い上げ時の状態 (工場出荷設定) に戻すには」)
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

必要
な
と
き

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯



※このサービスは WEB 限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://panasonic.co.jp/cs/>

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル

パナは

365日



0120-878-365

※携帯電話・PHSからもご利用になります。

音声ガイドを短くするには、案内が聞こえたら電話機
ボタンの「87」と「130 #」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「※」ボタンを押して
から操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX

フリーダイヤル



0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。

ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル

パナは

イイヨ



0120-878-554

※携帯電話・PHSからもご利用になります。

- ・上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。



愛情点検

長年ご使用のCDステレオシステムの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がある
- ・音が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体に変形や破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセントから
電源プラグを抜いて、
必ず販売店に点検をご相談
ください。

パナソニック株式会社
ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号